

Cisco IOS XE 17.9.1 の新機能

この章は、次の項で構成されています。

- ・セルラーの起動時間の改善 (1ページ)
- IOS XE ダウングレードの警告 (1ページ)
- 温度 OID の SNMP ポーリング (2 ページ)
- GPS モードのデフォルト有効化 (3ページ)
- インストールモードのサポート (3ページ)
- Cisco WebUI アクセスポイント名 (APN) (4ページ)

セルラーの起動時間の改善

IOS-XE リリース 17.9.1 では、セルラーリンクのアップタイムに多くの改善が加えられています。以前のリリースでは、ルータの起動後、セルラーインターフェイスが起動してトラフィックを渡すまでに約 2 分 30 秒かかりました。このリリースでは、セルラーリンクのアップタイムが約 20% 改善されています。

IOS XE ダウングレードの警告

この機能は、**boot system flash** コマンドに続けて、実行中のイメージのいずれかよりバージョン番号が小さいイメージのファイル名を発行すると、警告を表示します。ユーザーに表示される警告メッセージを無視することで、ダウングレード操作は引き続き可能です。実行中のイメージと同じまたはそれ以上のバージョンでのイメージの起動は、警告なしで許可されます。この機能は、ルータのブートフラッシュにすでにロードされているイメージのみ、つまり、**boot system flash** *<file_name* > CLI のみを対象としています(ftp、mop、rpc、tftp、rom などの

システムがバージョンを比較する方法の例を次に示します。

次のように2つのバージョン番号を比較する場合:

その他のソース/デバイスを除く)。

- 17.7.1
- 17.7.1c

文字の付いたバージョン (17.7.1c) が、最新のバージョンとみなされます。

次のように2つのバージョン番号を比較する場合:

- 17.7.3a
- 17.7.3f

比較は、アルファベット順を考慮して行われます。上記の場合、17.7.3fが最新のバージョンと みなされます。

温度 OID の SNMP ポーリング

SNMP MIB が温度センサーから値を返せるようにするためのサポートが追加されました。出力は、show environment CLI のようになります。

IR1101 の show environment の出力:

IR1101#show environment

snmpwalk からの出力は次のようになります。

```
[root@sg-centos-hv ~]# snmpwalk -v 2c -c public 33.33.33.204 1.3.6.1.4.1.9.9.13.1.3.1
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.2.1 = STRING: "Sensor 1"
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.3.1 = Gauge32: 48
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.4.1 = INTEGER: 93
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.5.1 = INTEGER: 0
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.6.1 = INTEGER: 1
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.13.1.3.1.7.1 = INTEGER: 0
```

ciscoEnvMonTemperatureStatusEntry oid は 1.3.6.1.4.1.9.9.13.1.3.1 です。

- ciscoEnvMonTemperatureStatusIndex (.1)
- ciscoEnvMonTemperatureStatusDescr (.2)
- ciscoEnvMonTemperatureStatusValue (.3)
- ciscoEnvMonTemperatureThreshold (.4)
- ciscoEnvMonTemperatureLastShutdown (.5)
- ciscoEnvMonTemperatureStatus (.6)

GPS モードのデフォルト有効化

17.9.1 より前の IOS XE バージョンでは、GPS はデフォルトで有効になっていましたが、GPS モードはデフォルトで無効になっていました。このため、ルーターが起動した後、GPSを使用するためにユーザーが追加でモデムの電源を再投入する必要がありました。

IOS XE 17.9.1 以降、GPS モードはデフォルトで有効になり、スタンドアロンモードに設定されます。これにより、セルラーリンクのアップタイムを短縮できます。



(注)

これは、セルラーベースの GPS にのみ適用されます。これは、IR1800(DR モジュール)、IR8140(ネイティブ GPS)および IR8340(タイミングモジュール)の GPS/GNSS モジュール には適用されません。

セルラー GPS ステータスを確認するには、次のコマンドを使用します:

Router# show cellular <slot> qps

auto-reset Enable reset modem automatically after configuring GPS enable or mode

インストールモードのサポート

次の表に、バンドルモードとインストールモードの違いを示します。

IoT ルータで実行されている Cisco IOS XE は、通常、バンドル起動モードを使用しています。 バンドル起動モードは統合起動とも呼ばれ、単一の圧縮イメージを使用します。一般的な命名 規則は、
cproduct>-universalk9.
release>.SPA.bin です。

このモードでは、ローカル(ハードディスク、フラッシュ)またはリモート(TFTP)の.bin イメージを使用して、統合されたブートプロセスが提供されます。.bin イメージ経由で起動するということは、ルータは、起動する前にまずイメージを解凍する必要があることを意味します。これにより、ルータを起動するためにより長い時間がかかっていました。

ルータを新しいバージョンの IOS XE にアップグレードするには、「boot system」が新しいソフトウェアイメージをポイントするようにします。この方法はよく知られており、製品設定ガイドに詳細が記載されています。

IOS XE リリース 17.9.1 以降、インストールモードと呼ばれる新しい起動モードが IoT ルータ に追加されました。インストールモードでは、packages.conf ファイルによって読み取られる ブートフラッシュにロードされたパッケージが使用されます。この方法では、ソフトウェアの インストールプロセスをより正確に制御できます。



(注)

SMU のインストールは、バンドル起動モードとインストールモードの両方でサポートされていました。Cisco IOS XE リリース 17.9.x 以降、ルータがバンドルモードで起動された場合、SMU のインストールは停止されます。ルータがインストールモードで起動された場合、SMU のインストールは以前のリリースと同様に機能します。

表 1: バンドルモードとインストールモード

バンドルモード	インストールモード
このモードでは、ローカル(ハードディスク、 フラッシュ)またはリモート(TFTP)の .bin イメージを使用して、統合されたブートプロ セスが提供されます。	このモードでは、ブートプロセスにローカル (ブートフラッシュ)の packages.conf ファイ ルを使用します。
このモードでは、1 つの .bin ファイルを使用 します。	このモードでは、.bin ファイルは拡張された .pkg ファイルに置き換えられます。
CLI:	CLI:
Router(config) #boot system bootflash: <filename></filename>	<pre>#install add file bootflash: [activate commit]</pre>
このモードでアップグレードするには、boot system が新しいソフトウェアイメージをポイントするようにします。	このモードでアップグレードするには、 install コマンドを使用します。
イメージの自動アップグレード:新しい Field Replaceable Unit (FRU) がモジュラ型シャーシに挿入された場合、アクティブな FRU と同じバージョンで新しい FRU を実行するには、手動による作業が必要です。	イメージの自動アップグレード:新しいFRU がモジュラ型シャーシに挿入された場合、結 合するFRUは、アクティブなFRUと同期し てイメージバージョンに自動アップグレード されます。
ロールバック:複数のソフトウェアメンテナンスの更新(SMU)を使用して以前のイメージにロールバックするには、複数回のリロードが必要になる場合があります。	ロールバック:1回のリロードで、複数のパッチを含む、Cisco IOS XE ソフトウェアの以前のバージョンへのロールバックを有効にします。

詳細については、「Cisco IOS XE Installation Methods」を参照してください。

Cisco WebUI アクセスポイント名 (APN)

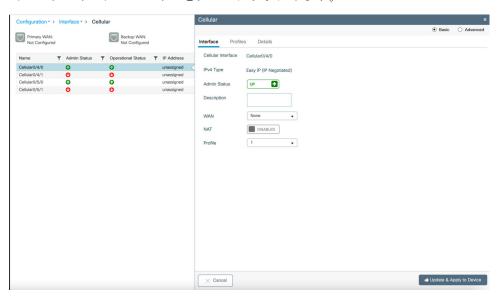
IOS XE 17.9.1 では、Cisco WebUI インターフェイスから APN を追加、編集、または削除する機能が追加されました。以下に、この機能を実行する方法の概要を示します。



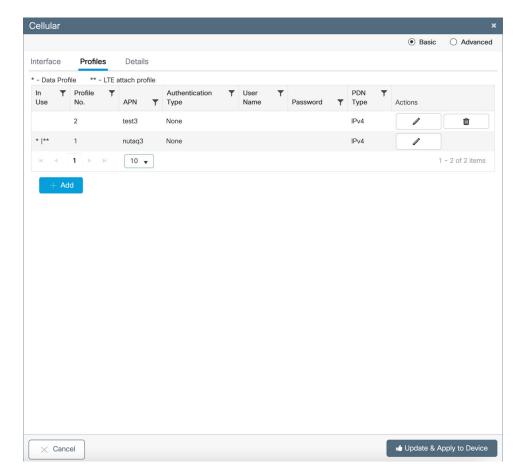
(注) このセクションでは、新機能についてのみ説明します。WebUIの完全な概要ではありません。

APN の追加

WebUI から、[Configuration] > [Interface] > [Cellular] に移動します。プラットフォームに基づいてセルラーインターフェイスをダブルクリックします。



[Cellular] ウィンドウで、[Profiles] タブをクリックします。

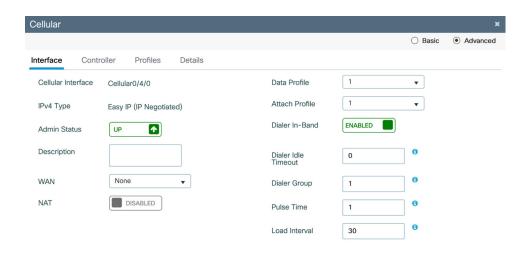


[Profiles] タブから、APN を追加、削除、または編集できます。プロファイルが変更されたら、ウィンドウの下部にある [Update & Apply to Device] をクリックします。

SIM スロットの変更

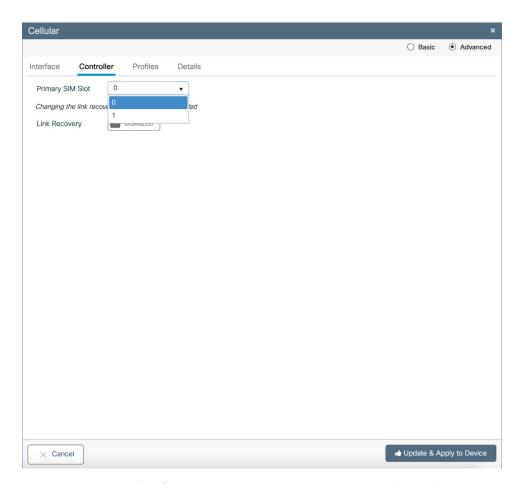
デフォルトでは、APN は SIM スロット 0 に接続されています。WebUI を使用して、APN を SIM スロット 1 に変更できます。

WebUI から、[Configuration] > [Interface] > [Cellular] に移動します。ウィンドウ上部にある [Advanced] オプションボタンをクリックします。





ウィンドウ上部にある [Controller] タブをクリックします。



[Primary SIM Slot] プルダウンをクリックして、スロット1を選択します。ウィンドウの下部にある [Update & Apply to Device] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。